

例幣使仮装行列



活動参加団体

* 菰川小学校5年生全員

* 石原町一区・二区

* 石原町神社総代

発表者: 小澤登志夫/森田 文男

発表の内容

- ①、活動のきっかけ
- ②、1%まちづくり事業に応募したきっかけ
- ③、実施している事業の内容
- ④、活動の流れ
活動1、～6
- ⑤、事業を行った効果
- ⑥、今後の活動について
- ⑦、その他

①、活動のきっかけ

「遠くの親戚より近くの他人」

こんな言葉を強く意識せざるを得なくなった昨今の石原町、新しく町民になられた方にもっと石原町を知って貰いたい、そして、隣近所のお付き合いが昔のように出来る町にしよう。



②、1%まちづくり事業に応募したきっかけ

幸い、町には例幣使道が通り関連した伝説も残されています。これを何とか活用して町の活性化につなげられないだろうか、





救命犬の像

例幣使道と 加茂神社



スタンプラリーでもお馴染



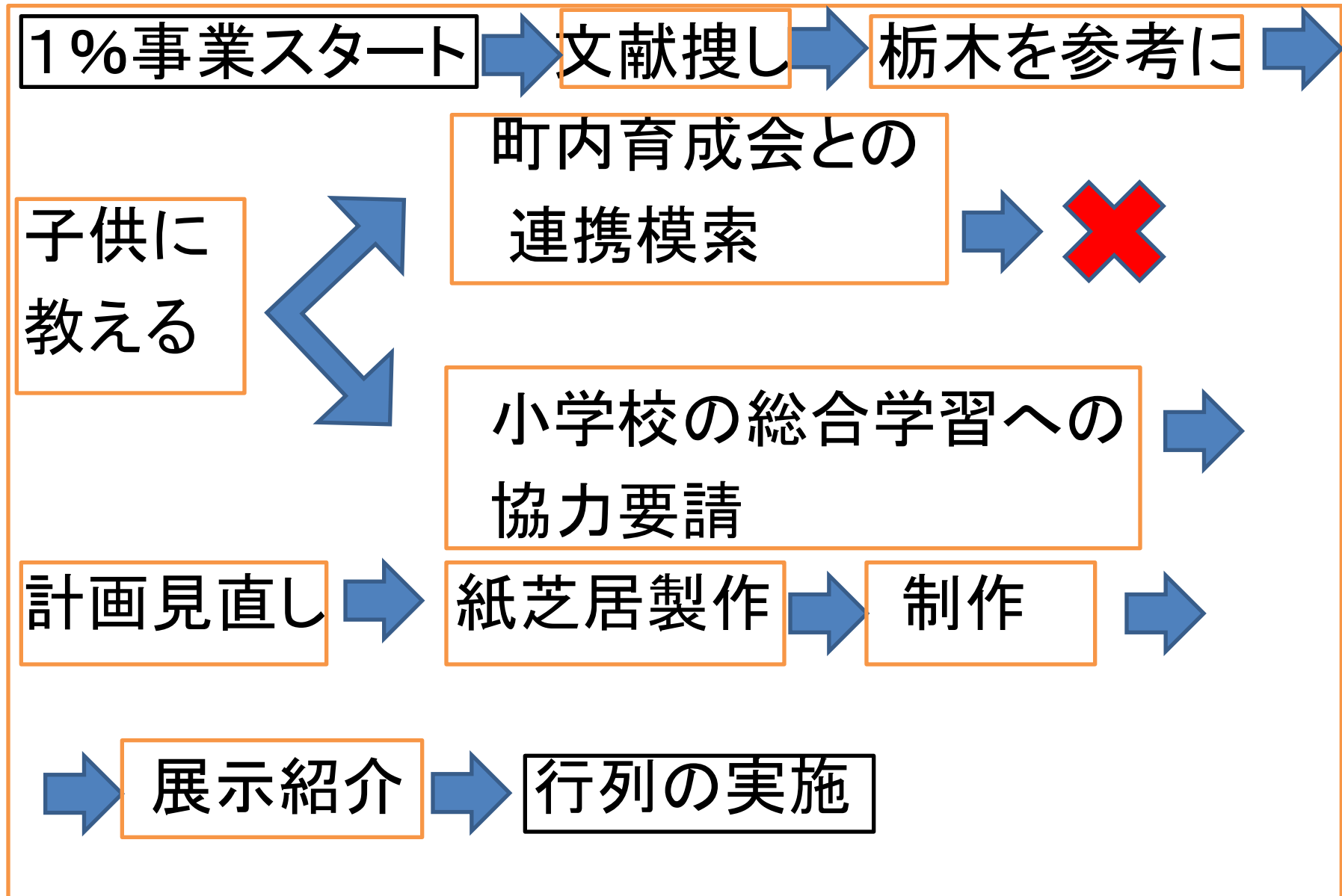
鳥居の無い神社



③、実施している事業の内容

- 年1度、221年間、4月12日に通過したという例幣使行列を小学5年生の協力により再現する。
- 例幣使について、石原町加茂神社に伝わる伝説を題材に「紙芝居」を作成し子供達に伝えて行く。
- 例幣使の持ち物、衣装等は色々な文献をあさり、それらしく、雰囲気を大切に手造りをする。

④、活動の流れ



活動 1、 例幣使衣装を作る

生徒の製作風景



企画・試作

学校での製作打ち合わせ



製作

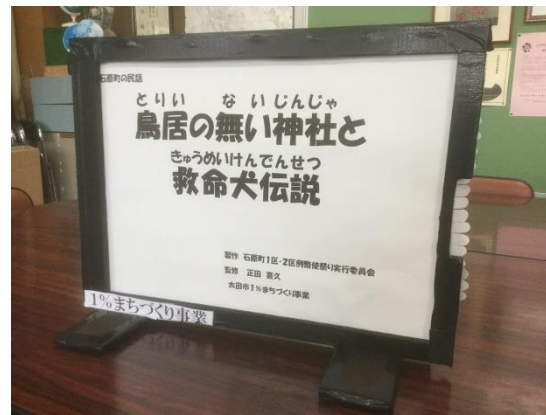


活動 2、 例幣使と例幣使道について学ぶ

元教育長正田先生に例幣使と例幣使道について講義して頂く場を設ける事で、知っている様で知らないその実態の認識を新たにする



活動 3、 例幣使と伝説を 子供達に伝える



紙芝居を作り子供達に読み聞かせの時間で 紙芝居をしてあげる。そして、折角作った紙芝居ですから 町内のイベントでも披露しました。



小学校の総合学習風景



町内イベントでの披露

活動 4、持ち物を造る



勅使輿



菅笠66



合羽籠2



御台



金の幣帛



宣命



刀66



長柄傘2



両掛け4



鉄箱4



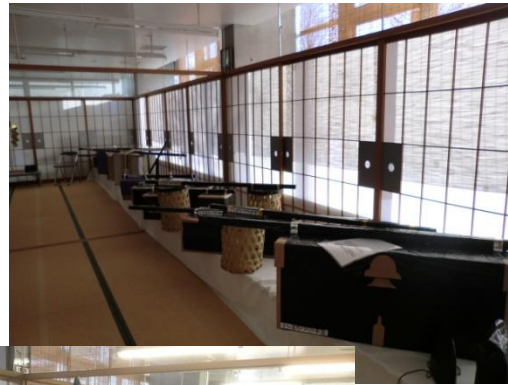
長持ち5



槍6

活動 5、持ち物の展示披露

隔年に開催される石原町の文化祭には部屋を借りて例幣使についての展示、子供は衣装の試着OK, ハイポーズです。



活動 6、4月12日

天候は申し分ありませんでしたが、風が強くて菅笠、烏帽子等が飛ばされる始末、予算不足よりも知恵不足でにわか手造りの結果であり反省点です、



上毛新聞の記事



例幣使の一行に扮して練り歩く小学生ら

児童ら「例幣使」
「下にし、下にし、」
太田市小（須永栄実子校長）の6年生と地元住民約110人が12日、江戸時代日光例幣使街道を通った例幣使（天皇の勅使）らの一行に扮し、太田市石原町の同街道沿いなど約3kmを練り歩いた。
公家などに仮装した参加者は「下にし、下にし」の号令で同校を出発。馬に乗った宰領を筆頭に、幣用や例幣使を乗せた輿、槍持ちなどが約100名にわたって

⑤、事業を行った効果

- 子供達が手造りした衣装を着て行列をするので他の地区からの見物客も多くメディア(TV)にも取材して頂き好評だった。
- 地域に残る歴史を多くの人に知って頂き、石原町に興味を持ってくれるきっかけが出来たと思う。
- 町民全員が感心の持てる行事となり夏祭りに近い行事が1つ増えた事で、町の活性化に一役買ったと思える。

⑥、今後の活動について

当初は、構想倒れにならないかどうか、形として仕上げられるのかどうか心配でしたが、思ったより多くの人達の協力が得られましたので、更に歴史的な知識も付け加えながら、内容も充実して続けていく事によって町おこしに少しでも貢献出来ればと思っております。

今年の5年生は96名(7名増)です。持ち物も増やし一段と盛り上げて行きます。

⑦、その他

暗中模索で始めた例幣使仮装行列は子供達に例幣使を教える事の部分で学校の協力が得られた事で大きく展開していきました。

学校の協力が得られた事は逆に教える内容に付いての責任を痛感しました。そこで、元教育長(正田喜久先生)の協力と監修を得られて何とか例幣使行列が形作られて行きましたが、ご協力くださった多くの皆様に感謝申し上げます。

4月1日京都を発つ予定の例幣使一行は今頃は人選の最中でしょう。4月12日は、石原町の加茂神社の前を通過します。

皆さんどうぞ見に来て下さい。

ご清聴ありがとうございました

